

「働き方改革」 医師の働き方を考える



**ストップ!
過労死**

東京過労死を考える家族の会
医師の働き方を考える会共同代表

中原 のり子



**ストップ!
過労死**

少子化と経営効率のはざまで

「週刊文春」誌に報じられた通り、都内の病院で小児科の廃止が相次いでいます。

私も佼成病院に奉職して12年が経過しましたが、この間、近隣病院小児科の縮小・廃止の話は聞きますが、中野・杉並を中心とする城西地域では新設・拡充の連絡は審問に止まっています。

もちろん一因として世界に類のない早急で進展する我が国の少子高齢化をあげざるを得ません。小・中学校には空を教室が目立ち、都立高校の統廃合の計画も明らかにトリフツあります。

しかし、小児科消滅の主な原因は、厚生省主導の医療費抑制政策による病院をとりまく経営環境の悪化と考へられます。生き残りをかけた病院は、経営効率の悪い小児科を切り捨てます。現行の診療報酬制度（出来高払い）では、基本的には薬は使えば使っただけ、検査は実施すればしただけ、診療報酬が上がり、病院の収入となります。例えば大人の場合には、かなりの注射アンブレ、本分の通常の投与量と70%です。しかし、体重も小さく代謝機構も未熟な小児では、個々の症例で年齢・体重を勘案し、ばら薬用量を決定し、その分量をアンブレから注射器に注ぎかえて粗かく、慎重な投与量を設定しなければなりません。

検査にしても協力が得にくい小児の場合には、

1-10-20 2000.4.25.1:55

佼成病院

11-1 10000101



ストップ!
過労死

少子化と経営効率のはざままで(要旨)

●医療費抑制政策

→病院経営の逼迫

→経営効率が悪い小児科の閉鎖

●診療報酬制度の問題点:小児科の構造的な採算

●頻回の当直による疲労蓄積

→医療ミスの心配

●女性医師の増加

→結婚出産に伴う他の医師の負担



ストップ!
過労死

「当直」は労働ではない！？

労働法規:「当直」=労働がない宿泊

病院の実態:「当直」=労働そのもの

言葉のすり替えがまかり通っている！

EUの判例:「待機時間も労働時間！」

※ 2013年県立奈良病院

最高裁判決

当直を労働時間と認定



2010.7.8

最高裁にて和解成立！

1.和解成立

7月8日、最高裁第二小法廷古田佑紀裁判長の下、故 中原利郎医師の遺族対同医師勤務先病院の民事訴訟の和解が成立。病院は中原医師の死に対して深く哀悼の意を表し、和解金を支払う事となった。

2.和解骨子

我が国におけるより良い医療を実現する観点から、双方に和解による解決を勧告した。

3.異例の和解

個人訴訟で最高裁が和解勧告を行うのは1~2/5000件

4.一番の思い 「予見可能性」 効力を低下させる！

「女性医師 男性より優秀」

科学論文を評価する英国の調査会社「オルトメトリック」は、一般社会で関心の高かった2017年の論文トップ100を発表し、米カリフォルニア大ロサンゼルス校の津川友介助教らによる「女性医師の方が男性医師より腕がいい」とした論文を3位に選んだ。

同社は毎年、1年間に発表された論文の話題性について、新聞やニュースサイト、ブログ、短文投稿サイト「ツイッター」などの反響を基に順位付けしている。今回、16年12月〜17年11月の約220万本を対象とした。

津川氏の論文は、11〜14年に米国の急性期病院に入院した65歳以上の患者約150万人の経過を分析し、女性医師が治療した方が男性医師より入院後30日以内の死亡率や再

世界に影響論文 津川氏3位

入院率が低かったという内容だ。

津川氏は「『男性医師の方がしつかり診るのではないか』という先入観が覆され、多く読まれたのだろう。女性医師が給与や昇進で不利益を被るような性別格差が縮むといい」と話す。

1位は、18カ国10万人以上の食事を分析し、「低脂肪食は早死にのリスクが高い」とする結果をまとめたカナダなどのチームの論文。2位は「博士課程の学生が抱える仕事のストレスが精神面に重大な影響を与えている」としたベルギーなどのチームの論文だった。日本からは、宇宙線を利用してクフ王のピラミッド内に大きな空洞を発見した名古屋大の森島邦博特任助教らの論文が30位に入った。

【河内敏康】

過重労働は人が倒れる までは問題になりにくい

- 倒れてからでは遅すぎる。
- 本当は人が倒れなくなる社会へ

◇ 過労死等防止対策推進法 2014年6月20日制定

過労死等防止対策推進法が制定されるまで

全国 121 市町村自治体意見書採択

署名数 55万3000筆

国連の社会権規約委員会が

過労死・過労自殺の防止を日本政府に勧告



ストップ!
過労死

10回の院内集会

3回の緊急集会

議員連盟の存在

超党派・130名の国会議員が賛同・参加

過労死防止【国の責務】

- 1 過労死の調査研究
- 2 国民への啓発
- 3 相談体制の整備
- 4 過労死防止に取り組む
民間団体の活動支援



ストップ!
過労死

長時間労働などによる労働者の過
労死や過労自殺の防止が目的

「過労死白書」

国会に毎年報告をおこなう、法定白書『我が国における過労死等の概要及び政府が過労死等の防止のために講じた施策の状況』

労働時間記録義務の法定化、労働時間の量的上限規制、勤務間インターバル規制の導入などの労働基準法改正・週40時間
労基法規制強化こそ、本当に労働者のためになる働き方改革



村上優子さん 25歳

大阪国立循環器病センターで看護師として勤務していた故村上優子さん25歳は2001年2月13日にクモ膜下出血で倒れ、入院。

懸命の治療が行われましたが、3月10日に帰らぬ人となりました。



高橋愛依（あい）さん（当時24）

2007年5月には、東京都済生会中央病院（東京都港区）のオペ室に勤務していた当直明けの看護師・高橋愛依さんが、患者の移動に使うストレッチャー（車輪付きの簡易ベッド）で仮眠中に意識不明となり、帰らぬ人となった。
残業時間は過労死認定基準の月80時間を下回っていたが、不規則な勤務による過労と判断した。



札幌の新人看護師過労自殺

KKR札幌医療センター看護師、杉本 綾さん(当時23歳)2012年4月から月に65時間から91時間の時間外労働で うつ病を発症して2012年12月に自殺

私の娘は新卒看護師で過労自死しましたが、

時間外労働は91時間に及ぶものでした。

時間外は単純に時間数で区切ってはいけないと思います。仕事の質で、うつ病を発症するまでの苦しい時間外なのか、ただ時間つぶしをしている時間外も有るかもしれません。 例え80時間であっても、心身に害を及ぼす仕事も多々有るかと思います。 「帰宅後の、自宅での仕事は一切、時間外として考慮されていない」 「離職率の高い看護職だからこそ、働き方を改善してほしい」

看護師の過労死（北海道）

・釧路赤十字病院
村山譲

2013年 入職後半
年室蘭自宅の納屋で自死
手術室配属

ミスを理由に
新人カリキュラムに沿った
仕事与えず

医師からの暴言
A医師からのハラスメント
3人目の犠牲者

・札幌市内の循環器病院
飯山さん

「吃音」（言語障害）

2015年

入職後4か月 自死

「大声・威圧的・高圧的な態度をされると萎縮しさらに言葉は出なくなる」

「患者とのコミュニケーションが取れない」
病棟患者からの
ハラスメント

看護師が過労死しないために

NS（PartnershipNursingSystem）

福井大学医学部附属病院看護部が開発した看護方式で「2人の看護師が安全で質の高い看護を共に提供することを目的に、良きパートナーとして対等な立場で互いの特性を活かし、相互に補完し協力し合って、毎日の看護ケアをはじめ委員会活動・病棟内の係の仕事に至るまで1年を通じて活動し、その成果と責任を共有する看護体制」

2 交代制勤務 ・ 3 交代制勤務

新潟市民病院の研修医

木元文（あや）さん（当時37歳）



新潟市民病院女性研修医

木元文（あや）さん＝当時（37）
残業最長月250時間、過労自殺

- 2016年1月に市内公園の雪の上で自死
最長だった2015年8月は251時間
だった。
- 「気力がない」「病院に行きたくない
し、人とも会いたくない」
ともらし始めた。
- 医者になんか、なるんじゃ
なかった



長時間労働で院長ら不起訴 新潟市民病院、遺族が告発

新潟市民病院が2017年1～6月、
延べ90人の医師に労使協定違反の
長時間労働をさせたとして、
過労自殺した女性研修医当時（37）の
遺族が労働基準法違反の疑いで告発
した問題で、新潟地検が片柳憲雄
（かたやなぎ・のりお）院長らを不起訴処分

医師の過労死による労災申請1

- 1.整形外科医、急性心臓死(63年)→公務上認定(70年)
- 2.院長代行(60代)急性心不全(87年)→公務上認定(92年)
- 3.20歳代外科医、急性心不全(90年)→公務上認定(97年)
- 4.外科医(29歳)過労自殺(92年)→労災認定(05年)
- 5.産婦人科医(35歳)急性心筋梗塞(96年)→労災認定(99年)
- 6.神経内科医(40歳代)大動脈解離(96年)→公務上認定(05年)
- 7.麻酔医(30代)急性心不全(96年)→損賠勝訴(07年)、公務災害審査請求中
- 8.小児科女性勤務医(43歳)くも膜下出血(97年)→労災認定(99年)
- 9.関西医大研修医(26歳)急性心筋梗塞(98年)→労災認定(02年)、労働者として最低賃金の保障(05年)
- 10.整形外科医(40代)急性心筋梗塞(98年)→労災認定(03年)
- 11.内科医(40代)過労自殺(98年)→労災認定
- 12.内科医師(53歳)過労自殺(99年)→公務災害認定(04年)
- 13.中原家のケース

2007.11.14 過労死弁護団全国連絡会議集約分・他

2007.11.14 過労死弁護団全国連絡会議集約分・他

医師の過労死による労災申請2

14. 研修医(20代)過労自殺(00年)→労災認定(04年)
15. 内科医(40代)くも膜下出血(00年)→公務災害認定(06年)
16. 嘱託医(30代)心肺停止(01年)→公務災害認定(03年)
17. 内科勤務医(43歳)突然死(01年)→公務災害認定
18. 小児科勤務医(31歳)過労死(03年)→労災認定(07年)
19. 外科医(40代)急性心筋梗塞(04年)→労災認定(06年)
20. 研修医(20代)心室細動(04年)→公務災害認定(06年)
21. 離島診療所歯科医師(51歳)過労死(04年)→公務災害申請中
22. 奈良の内科勤務医(26歳)過労死(04年)→労災申請中
23. 麻酔科女医(20代)過労自殺→労災認定
24. 産婦人科医(40代)脳出血(生存)(06年)→労災認定(07年)
25. 女性研修医(20代)過労自殺→労災認定(07年)

【壊れゆく医師たち】 岩波ブックレットNo. 718
1963年から2007年までの統計

【年齢集計】

20代 7名
30代 4名
40代 8名
50代 1名
60代 1名
不明 1名

【死亡原因別集計】

脳・心・循環器系疾患 15件

自殺 7件

【科別集計】

研修医 4件

小児科 3件

外科 3件

産婦人科 2件

整形外科医 2件

内科 2件

神経内科 1件

その他3件

茨城県土浦協同病院 男性外科医師（29歳）

1992年 過労によるうつ病自殺

「行政訴訟で医師の労災自殺認定は初」

2005年 2月23日

茨城新聞

警察の方へ

動機は、
毎日の生活に心も体のつかれ
精神的にまいってしまい
休息したいということです。

ご迷惑をおかけします

産科医死亡は「過労死」

甲府労基署 県内で初めて認定

甲府共立病院の産婦人科医・中島俊一さん（35歳）
96年3月14日、同僚の車に乗車中に急性心筋梗塞
翌15日死亡

同労基署は、中島さんが医療という日常的に緊張を伴う特殊業務に従事していたことに加え、死亡前日には通常業務と宿日直を繰り返し、**32時間連続で業務**するなどの過重労働が、精神的・身体的に負担を与え、死に至ったと判断した。

山梨日日新聞 1999年4月15日

馬車馬の様に働かされている
病院に搾取されている
病院に殺される
小児科医師なんて誰にも
感謝されない職業だ

【愚行です 不眠・不整脈・視力の衰え
精神的にも、身体的にも
限界を超えてしまいました】



睡眠不足が引き起こす問題

- 医師の連続勤務・過重労働から引き起こされる過労・睡眠不足から医療事故の発生
(医療過誤の温床・リスクマネジメント)
- 医師の過労と過労死などの生命と健康問題
(労働災害)
- 2009年10月JAMA誌
深夜手術執刀後同日の手術、医師の睡眠時間が6時間以下の場合のみ合併症リスクが1.7倍に
- 当直明け・連続勤務後の交通事故増加
(米国研修医・鳥取大学院生)

無給医の過労事故死

前田伴幸さん（享年33歳）

大学病院で徹夜で緊急手術にあたった後、仮眠もなく
アルバイト先の病院に向かう途中に交通事故死



事故前の1週間は、徹夜勤務を4日間こなし、そのまま通常勤務（“給与がもらえない”“社会保障が無い”“上の指示は絶対”“保育園に入れたい”“うつ病”）

- ・ 医療者たちにも家族がいる。
優秀な人材が、その給料のために日本の大学には近づきにくく、市中の病院で仕事するならまだしも、医学医療でない業界や、海外の機関に属したりすることにより、日本の医学の技術の進歩や未来の医療者の教育に関わるのが、二の足をふむ現状があると推測される状況がある

- ・ 一昔前は「博士」、昨今は「専門医」という「馬の鼻先にぶら下げるニンジン」という医療・医学現場の小手先？の努力で人材は維持されてきたが、破綻しかけている

やりがい搾取 はダメなのか？

・「鈍すれば窮する」。医療者・医学者の家族のための給料は重要である。未来の医学を作り出し、未来の医療者を教育し、患者の治療の最後の砦である大学医学部に、優秀な人材が集まるか否かは、日本の住民の安心と日本の国力に直結することではないのか？？

・日本の価値を高める未来の技術を作るような優秀な人材が輸出され、そして国の価値が下がり報酬が安くなり、結局労働者も集まらないような後進国になっていく現象の1つが、無給医？？

・ **やりがい搾取** で医療・医学を維持する日本は、いずれ沈没する

...のか？

・ 医者の家族が貧しいことは、医療の貧しさ繋がること。医者の給料は税金や保険からでているのであり、貧しさは日本国民であり患者の選択...のもの？？

事実上無料の労働力である**初期研修医**と **大学院生**、安い労働力である若手医師をかき集めて、**看護師の下働きをさせる**→**経済合理的** 大学病院中心の医師集約化を進めていくと、**地域医療の崩壊は一気に進む。**

東京医科大の**林由起子**学長
組織の体質が古く、壁だらけ
医師にはものすごい長さの時間外労働が認められようとしている。
国全体での議論が必要
どの社会でもまだまだ女性は生きにくく、働きにくい。

ある研修医(女性)のメール

「子ども達を手術で救いたい」と小児心臓外科医を目指していました。
研修当初は、家族にこんなメールを送っています。

【朝はだるくて毎日ブルーなんだけど、
みんな親切でやっぱ外科はいいな～ってかんじ】

【一日でいいから休みが欲しいです。
コレが一生続くのかな・・・。 つらいな～】

【なんか医者以外に生きる道はないかと思うから続けているだけで、早くこの苦痛から解放されることだけを願っています。
もうつかれたよ。

頑張れるだけは続けるけど、長くない気がします】
そして、自殺する数日前に母親に電話

【精神的にとても追い詰められているような感じで、余裕がないのがつらい。

最近では患者さんに対してもイライラしてしまって、怒鳴りたくなることもあったし・・・】

医師の過酷な勤務を知っていれば
娘を医者などにはさせなかった。

医師不足のため医局研修半ばで遠隔地
の病院に赴任して2年後の寒い朝、
娘は何も告げずに他界した。

医師生活2年8カ月の短い命。

入試・国試に合格して感涙した
あの日が虚しく蘇える。

多くの殉職者に国を挙げて感謝と
反省をすることが改革の一歩と思われます。

2007年2月日本大学女性研修医過労死
年間の宿直回数は77回

姉に話していた

【信じられる？

寝ているときに起こされるんだよ。

しかもたいした病気じゃないのに
来るんだよ】



12日間休んで、
復帰する予定の日に自殺

「一般労働者と同じ残業規制を」

医者はスーパーマンでもロボットでもなく、
生身の人間

入学試験と国試に
長時間不眠不休耐久レースが必要か



娘は希望に燃えて研修を
開始しました。

当直は年に77回、翌日も通常勤務。
毎朝6時には家を出て、帰宅は深夜12時。

疲れ果て自ら筋弛緩薬を点滴にて投与して自
死

医師を過労死させるということは
医療の崩壊につながります。

山田明医師（70歳）

医療現場の過労死 5年間で47人 医師が4分の1近く

厚生労働省がまとめた過労死白書によりますと、2010年から2015年までの5年間に労災と認定された医療関係者は285人でした。

このうち過労死は47人で、医師が4分の1近くの11人を占めました。

このうち8人が診療などの長時間労働による脳や心臓疾患での過労死でした。

また、労災が認められた看護師53人のうち52人が精神障害によるもので、ストレスの要因として患者からの暴力や入院患者の自殺を目撃したケースなどが多く挙げられています。

内科医師過労死で病院賠償命令 1億6700万円

長崎市の長崎みなとメディカルセンターに勤務し、2014年に急死した男性医師＝当時（33）病院側に損害賠償や未払いの残業代を求めた。長崎地裁は27日、「負担は極めて重かった」過労死と認め、約1億6700万円の支払いを命じた。

14年4月からセンターの心臓血管内科で勤務。12月18日、自宅で心肺停止の状態で見つかり、同日死亡した。直前1カ月の**残業は159時間**。7月26日～10月17日には**84日連続**で働いていた。

「相当の緊張を伴う業務を余儀なくされ、著しい疲労の蓄積があった」と指摘した。

今、パパを思い出して子供達が泣いています。
パパに会いたい。倒れないで欲しかったと。。。
母が泣くから子どもたちも。

「この病院を出ていかないと倒れてしまう。」その言葉
が現実となりました。使命感を持って働いた医師と
いう仕事に命を奪われました。

あの時、3歳と生後4か月の幼子を遺して逝った夫を
救急搬送されるまで、
妻が心肺蘇生する傍らで幼子が不安そうに見守る風
景を想像できますか？

パパは、いつお空から戻ってきてくれるの？

産婦人科医の過労自殺労災 広島地裁、認める

中国地方のへき地の病院の産婦人科50代
の男性医師が2009年に病院敷地に隣接
する医師住宅で自殺

「常勤医が2人だけで、分娩や手術など
に忙殺され、うつ病発症前の半年間は2
週間以上の連続勤務が5回以上あった」
と指摘。「部下とのトラブルも抱え、
心理的負荷は強かった」

国の主張は「**業務の密度は低かった**」

産婦人科医の働き方改革 へき地医療のこれから

遺書と思われるメモの抜粋

(2009年作成。最終行は丸で囲まれていた)

ゆっくり休みたい！

気持ちのいい生活をしたい！

人生リセット！！

ゼイタクはいらない、普通の人間の生活がしたい！！

亡くなった男性は医師不足の解消を訴えていて、
その矢先に亡くなった。

医師不足というのはかなり深刻で、
社会への問題提起となる判決になったと思う

群馬県の[伊勢崎佐波医師会病院](#)の男性医師
2015年＝当時（46）＝別の医師が休職し、
常勤医が男性のみとなり、過度な労働で死亡
したとして、遺族が病院を運営する伊勢崎佐
波医師会を相手に、約3億1600万円を求める
民事訴訟を前橋地裁に起こした。

[聖路加国際病院](#)の男性医師（53）が、
院長から不当に退職を迫られた。

6月には担当していた心臓カテーテル検査などの
業務から外れるよう上司から一方的に通達された

年1860時間、月100時間（例外あり）
頑張る人が頑張れるようにするためには
適切な労務管理が必要

患者の命を人質にして神風特攻隊的な話ばかり、現状維持と経営者の視点ばかり



特例で年1860時間（一部の医師） 長時間働けない医師の排除

残業規制で医師数がさらに必要になれば、
医師はますます大都市に集中しないかと懸念
28時間連続勤務しているドライバーやパイ
ロットに命預けられるのか？



目の前の患者
のために
「やむなし」との
意見
医療者が死んでも？

1992年(平成4年)1月8日夜、パパブッシュが宮沢喜一首相主催の夕食会で倒れる。その後日本の医療機関に行かずに軽快。当時の米大使館員「日本の病院に入院しないことが決まって、心底胸をなでおろした」

大部屋、医療ミスの温床ともなりかねない、危うい患者や薬剤管理、そしてボロボロに疲れきった医師達！「残念だが医師の犠牲と我慢の上に成り立っている 制度は長くは維持できない。 やがて崩壊する危険をはらんでいるだろう」

7年後1999年→都立広尾病院消毒薬静注による死亡事件
14年後2006年→福島県立大野病院産科医逮捕
(2004年産婦死亡) 16年後
2008年→墨東病院妊婦受入れ拒否 (受入れ不能)死亡

実効性ある医療職導入 & 増員を！

米国医療を支えるさまざまな職種

Case Manager 病棟秘書(24時間勤務) IV Nurse OR Tech 呼吸器療法士

特定看護師(NP) Nurse Practitioner 医師が行う行為の一部を看護師が補助する研修機関指定を目指す。気道を確保する器具交換など三つの行為を学ぶ研修を設定。厚生労働省から認められれば、2020年度から看護師を受け入れる。

医師事務作業補助者 医師が行う業務のうち、事務的業務をサポートする職種、医療秘書や医療クラーク、メディカルアシスタント(MA)などと呼ばれています。

PA(診療アシスタント)(PhysicianAssistant) 訪問診療に必要な物品を準備したり、カルテ記載、運転、在宅医療の意思決定支援・環境調整

薬剤師・理学療法・作業療法・・・語聴覚・・・
診療放射線技師・管理栄養・

Japanese Live...and Die...for Their Work

November 13, **1988** | By Ronald E. Yates, Chicago Tribune

TOKYO — Like millions of other workers who make up the rank and file of Japan`s relentless corporate armies, Satoru Hiraoka was a good soldier—a man who put the company first, the family last and such frivolous ideas as leisure time, weekends off and vacations out of mind. For more than 28 years, Hiraoka, a middle manager, faithfully put in 12-to 16-hour days, usually working 72 hours and sometimes as many as 95 hours each week at the Tsubakimoto Seiko precision bearing factory in Osaka. Not once did he take a day off because of illness or because of fatigue or simply because he felt like it. He was, as the Japanese say, a typical Kigyo-senchi—a ``corporation soldier.``

The young Japanese working themselves to death

2 June 2017 By Edwin Lane Business reporter, BBC World Service, Japan

Japan has some of the longest working hours in the world, and some young Japanese workers are literally working themselves to death. Now there are calls for the government to do more.

- **Michiyo Nishigaki was a proud mother when her only son Naoya landed a job at a large Japanese telecoms company, straight out of college.**
- **He loved computers, and it seemed like a great opportunity in Japan's competitive graduate jobs market.**

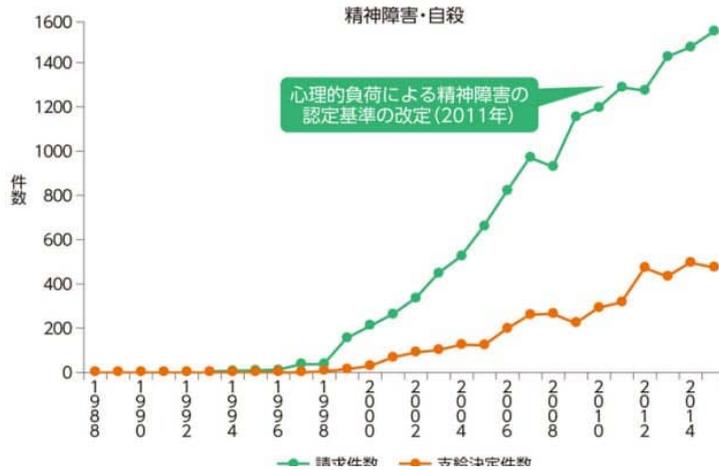


図 1 過労死等の労災請求の推移

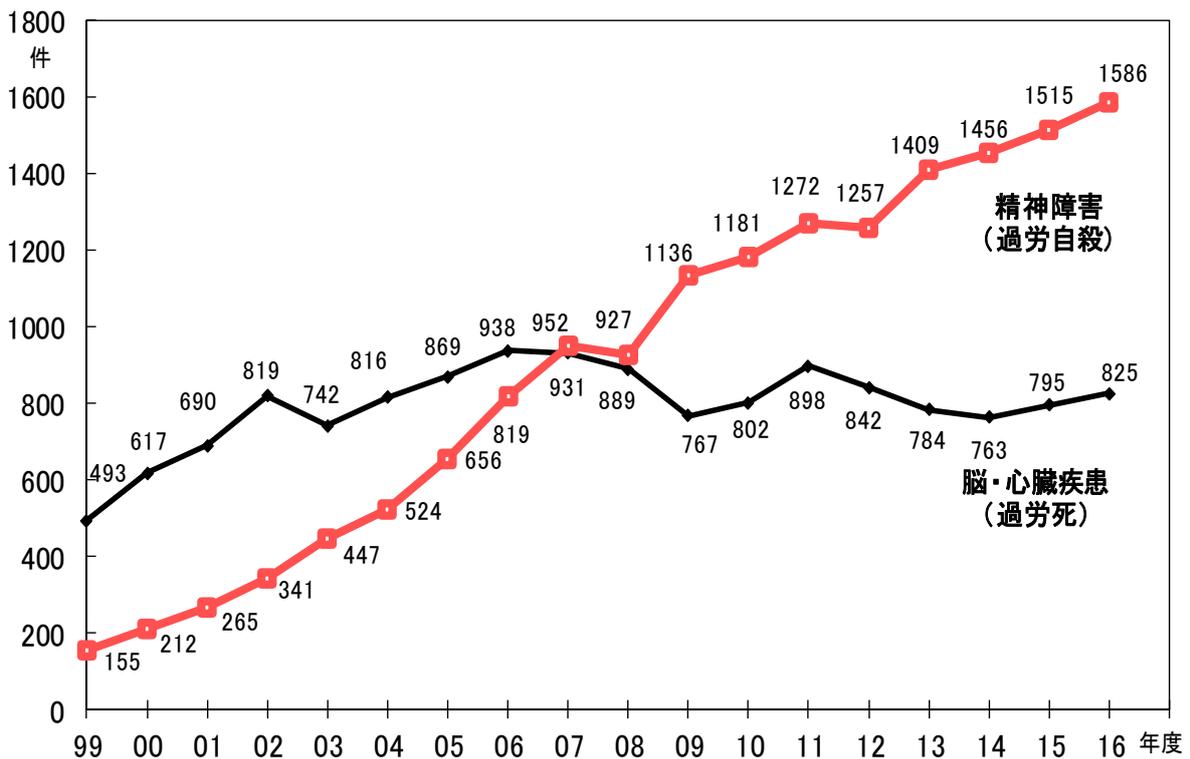
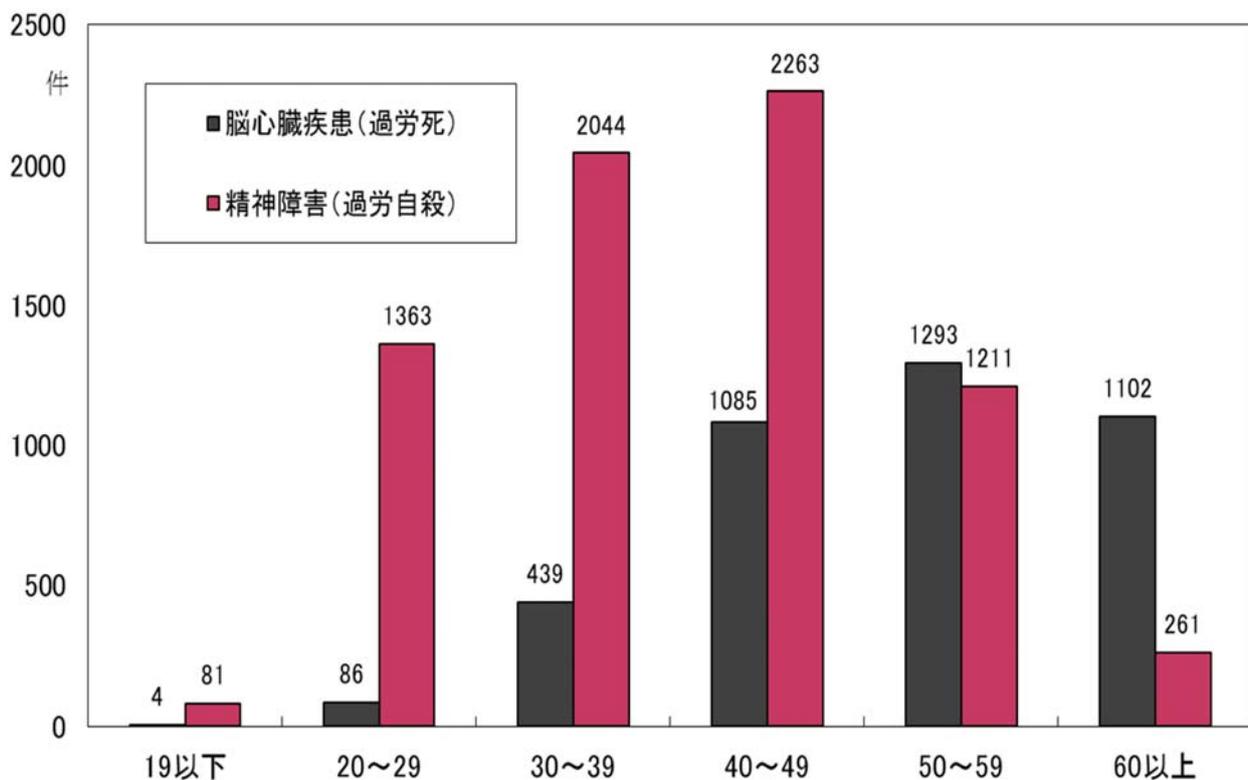


図2 若年層に広がるうつ病と過労自殺



「突然このような形をとってしまい、もうしわけございません。身も心も限界な私はこのような結果しか思い浮かびませんでした」

東京五輪メインスタジアムの新国立競技場で建設工事に従事していた三信建設工業の新
人男性社員（当時23）が一昨年3月に自殺

忍耐強い息子を助けてやれなかったことが、私たちにとって痛恨の極み

息子の笑顔を二度と見るできない
悲しみは、生涯癒えることはない



精神保健スタディツアーのご案内

イタリア 

ボローニャで知る 精神保健の地域活動

Associazione Onlus

HIKIKOMORI ITALIA

— GENITORI —



20

A
05
00
25
00
00

過労死

その仕事、命より大切ですか

牧内昇平

[朝日新聞記者]

「ぼくの夢」

大きくなったら

ぼくは博士になりたい

そしてドラえもんに

出てくるような

タイムマシンをつくる

ぼくは

タイムマシンにのって

お父さんの死んでしまう

前の日に行く

そして

「仕事に行ったらあかん」

というんや

その不幸は突然やってくる

他人ごとではない「現実」を7年にわたって追った

渾身のノンフィクション

朝日新聞の

コンビニは24時間オープンしてもらいたい。

弁当はできるだけ安く買いたい。

宅配便は決まった時間にきちんと届けてもらいたい。

新聞は毎朝毎夕決まった時間に配達してほしい。

24時間365日、安心・安全な医療

私たちが当たり前に考えている
そんな“便利な生活”



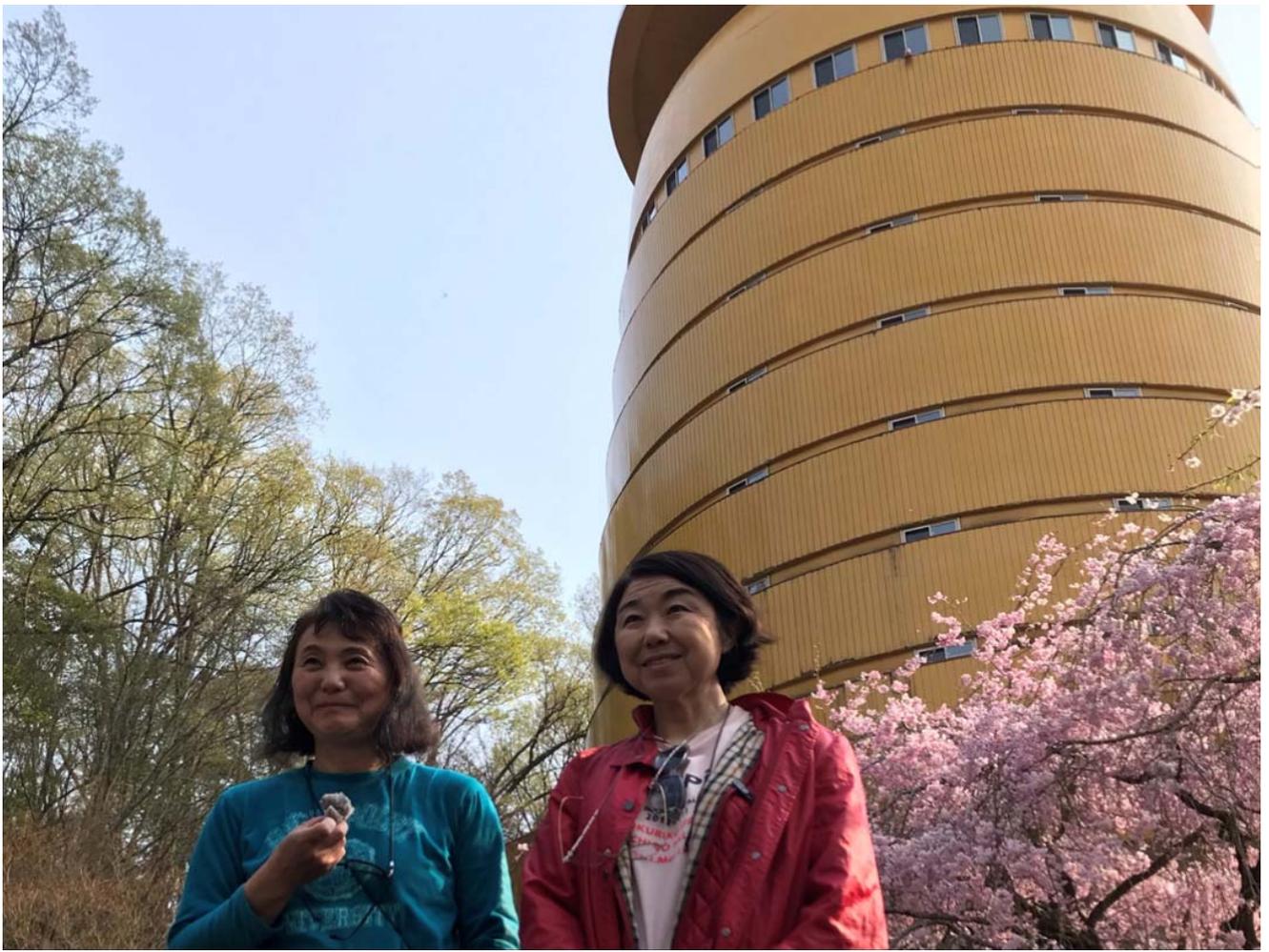
産業殉職者の御霊^{みたま}を敬仰しています
25万7千余の御霊が眠る高尾みころも霊堂

● 産業殉職者霊堂奉賛会は...

産業殉職者霊堂奉賛会（以下「奉賛会」という。）は産業災害により殉職された方々の尊い御霊を合祀奉安する産業殉職者霊堂（高尾みころも霊堂）（以下「霊堂」という。）の運営に協力する公益財団法人です。

この霊堂は昭和47年6月労災保険法施行20周年を記念して東京都八王子市に国をはじめ産業界・労働界の協力のもと、[独立行政法人労働者健康安全機構](#)（旧労働福祉事業団）によって建立されました。

奉賛会は春、夏の慰霊行事を催し、霊苑の環境美化に努め御霊をお慰めすることを通じて産業災害の根絶に向けた機運の醸成に努めています。



ノーベル平和賞受賞の
コンゴ民主共和国のムクウェゲ医師

私は言い続けて尽きることがないの
ですが、企業は決して私たちの敵で
はありません。

人権に対する敵でもありません。
むしろその反対です。 私たちの
パートナー、それ以上の友人です。
平和を実現できる人たちであり、社
会的な正義を実現できる、また持続
的な発展を促進するためのテコでも
あります。

大きくなったら

ぼくは博士になりたい

そしてドラえもんに出て

夢くるような

のタイムマシンをつくる

ぼくはタイムマシンに

のって

お父さんの死んでしまう

前の日に行く

そして

「仕事に行ったらあかん」

ていうんや

大きくなっても ぼくは
忘れないよ
得意な顔して作ってくれた
パパ焼きそばの味を
ぼくは タイムマシンに乗って
お母さんと一緒に助けに行こう
そして 仕事で
死んだらあかんで 言うんや
仕事のための命じゃなくて
命のための仕事だと
ぼくは伝えたい
だから 仕事で
死んだらあかんで 言うんや

〇〇十年前の私です



ストップ!
過労死



ありがとうございました